

文芸書



ブラックボックス 砂川 文次/著
ずっと遠くに行きたかった。今も行きたいと思っている。自分の中の怒りの暴発を、なぜ止められないのだろう。自転車のメッセンジャー、サクマは都内を今日もひた走る。『群像』掲載を単行本化。第166回芥川賞受賞作品。

- | | |
|-------------------------|--------|
| 奇跡 | 林 真理子 |
| タラント | 角田光代 |
| はじめての | 島本理生 |
| ブラック・ムーン(「果てしなき追跡」シリーズ) | 逢坂 剛 |
| 落花流水 | 鈴木るりか |
| 小説を旅する 北海道 | 合田一道 |
| すべての神様の十月 2 | 小路幸也 |
| 北斗星に乗って | 広小路尚祈 |
| わたしの美しい庭 | 凧良ゆう |
| 0 | 堂場瞬一 |
| ボクと、正義と、アンパンマン | やなせたかし |
| 太陽の Pasta、豆のスープ | 宮下奈都 |
| 国境事変 | 菅田哲也 |
| あずかりやさん 彼女の青い鳥 | 大山淳子 |
| あずかりやさん 桐島くんの青春 | 大山淳子 |
| 広き迷路 | 三浦綾子 |
| (手から手へ〜三浦綾子記念文学館復刊シリーズ) | |
| 六人の嘘つきな大学生 | 浅倉秋成 |

一般書・児童書



地図とデータで見る 国境問題の世界ハンドブック 原書房/出版



逢える日まで 河北新報社編集局/著



木下レオン帝王占術 木下レオン/著



ポケモン大図鑑 上・下 小学館/出版



世界一楽しい 子育てアイデア大全 木下ゆ一き/著



一冊でわかる鎌倉時代 大石 学/監修



地球の歩き方 ムー 地球の歩き方/出版



てんせつのチョコレート みやにしたつや/作・絵

BanBan & LunLun

かみしほろ としよかんたより

上土幌町図書館 生涯学習センター1階 ☎2-4634

◆開館時間 10:00~18:00 貸出制限なし(ただしDVDは3タイトルまで)
◆休館日 毎週月曜日・月末日(最後の平日)・年末年始(12月31日~1月5日)

町民文芸誌「火群」第47号発刊

火群編集委員会(委員長 白石馨)では、3月10日に火群第47号を発刊しました。多くの皆さまから投稿された40作品を掲載することができました。

今号では、上土幌に所縁のある方々からの投稿が目立ちます。上土幌生まれの今村日出男さん、勢多小・北門小に勤務された小椋圭一さん、上土幌高校の卒業生である平山牧人さんの作品です。特に小椋さんの作品は、昭和41年からの勢多小での6年間の教員生活と当時の十勝の様子も綴られて懐かしさを覚えます。圧巻は井上壮一さんの時代小説「うぐいすの里」です。たくさんの参考資料で調べられた内容は、江戸の町にいるような臨場感を読者に与えます。

図書館で貸出と販売(1部500円)をいたしますので、ぜひご覧下さい。

図書館名画座「シャレード」

謎の死を遂げた大富豪の持ち金25万ドルが紛失。大富豪の妻は謎の男の協力を得て金を探そうとします…。コミカルでロマンチックなサスペンス映画です。第31回アカデミー賞で主題歌賞を受賞しています。

- ★日時 4月16日(土) 14時開始 上映時間120分
- ★場所 生涯学習センター2階 視聴覚ホール
- ★出演 オードリー・ヘップバーン ケーリー・グラント

道新特別文化講座 上土幌エッセー教室令和4年度受講生募集

- ◆開催日 毎月第3水曜日 14時から15時30分
 - ◆会場 生涯学習センターわか 会議室3
 - ◆受講料 年間6,000円(月額500円)
 - ◆講師 新宮正久先生 (文芸評論家 詩誌「新地帯」編集発行人)
- ※受講を希望する方は図書館にご連絡ください。

ようこそおはなしの世界へ

- ★お話し
 - ◆日時 4月9日(日) 10:30~
 - ◆内容 お話し「カクコウ」による絵本の読聞かせ・紙芝居・パネルシアター等
 - ★えほんのトピラ
 - ◆日時 4月16日(日) 10:30~
 - ◆内容 図書館職員による絵本の読み聞かせ
- ※会場は両日とも図書館お話の部屋です。
※新型コロナウイルスの感染状況により中止になる場合がございます。



おすすめの一冊

非色 有吉佐和子

戦時中、女学生だった林笑子は終戦と同時に女学校を卒業すると、戦後の混乱の中やっと見つけた働き先で黒人兵と出会い、家族の反対を押し切り結婚します。暫くしてメアライという娘が生まれ、夫のアメリカ帰還が決まると、異国の生活に不安を感じた笑子は娘と日本に残ろうと思えます。

そんなある日、自分を差別し、虐めていた子どもたちに仕返しをしている娘の姿を目の当たりにした笑子はメアライの将来を考え、「自由と平等の国アメリカ」へ渡る決心をします。渡航の船には、それぞれが黒人、イタリア人、プエルトリコ人と結婚した戦争花嫁たちがいて、その後の笑子の生活に深く関わってきます。

新天地でも家族を養うため働き詰めの笑子は、行く先々で差別と向き合い、人間は自分がより優れていると思わなければ生きていけないのではないかと思ひ至り、日本人を捨て、この土地で娘や夫と同じ人種となり、力強く生きて行こうと誓います。

昭和39年の発刊から57年を経て、今尚読み継がれている一冊です。

【4月の休館日】4・11・18・25・28日

※28日(木)は月末休館日です